

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について

磐田市教育委員会

1 はじめに

平成31年4月に実施した「平成31年度全国学力・学習状況調査」の本市立学校の調査結果の概要をお知らせします。本市の調査結果及び課題等を公表することにより、児童生徒に関わる様々な立場の方々に関心をもっていただき、調査結果から見える成果や課題を共有しながら、学校・家庭・地域が連携し、一体となって磐田市の子どもたちを育てていきたいと考えております。

なお、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部を測定したものであり、この調査結果を本市の子どもたちの学力や学習状況を把握する資料の一つとして、一人一人に応じた指導や学習状況の改善のために役立てていきたいと考えております。

※結果分析と今後の対策については、10月初旬にお知らせする予定です。

昨年度まで国語A(主として知識を問う問題)、国語B(主として知識を活用する問題)というように問題が分かれていましたが、今年度より国語、算数(数学)共に、AB両方の内容を一体化した問題に変更されています。

2 結果

〈小学校〉全国学力・学習状況調査平均正答率と平均正答数

	国語		算数	
	平均正答率 (%)	平均正答数 (14問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (14問)
全国(公立)	63.8	8.9	66.6	9.3
県(公立)	65	9.1	66	9.3
磐田市	68	9.5	67	9.4

〈中学校〉全国学力・学習状況調査平均正答率と平均正答数

	国語		数学		英語	
	平均正答率 (%)	平均正答数 (10問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (16問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (21問)
全国(公立)	72.8	7.3	59.8	9.6	56.0	11.8
県(公立)	75	7.5	62	9.9	58	12.2
磐田市	76	7.6	62	10.0	58	12.3

3 結果概要 ○成果等 ●課題等

	小学校	中学校
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むために、目次から適切なページを選択する問題や、話し手の意図を確認するための適切な質問内容を問う問題の正答率が高かった。 ●目的や意図に応じて、自分の考えやその理由を明確にし、相手に伝わるように整理して書く経験を積ませたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題に示された短歌について、自らが感じたことや考えを書く問題や、示された文章を読み、その文章の内容をより良くするために必要な語句を選択する問題の正答率が高かった。 ●封筒の宛名等の書き方を復習したい。話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを整理し、相手に伝える経験を積ませたい。
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の特徴について理解し、適切な答えを選択する問題や、棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る問題の正答率が高かった。 ●示された計算方法について理解し、数の性質や計算の仕方について説明する場面を設けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形を平行移動させたときの頂点の移動距離を求める問題や、合同条件が成り立つ場合と成り立たない場合を比較し、反例について考える問題の正答率が高かった。 ●目的に応じて必要な情報を得るために、グラフを適切に活用する経験を積ませたい。
英語		<ul style="list-style-type: none"> ○教室内でよく使う英語を聞いて、その指示の内容を適切に表している絵を選択する問題の正答率が高かった。 ●与えられたテーマについて、自分の考えを英語の文章で書く経験を積ませたい。